※令和３年度以前入学生用

学校番号	３００７

令和５年度　工業科（ファッション工学科）

教科	工業	科目	ファッション工学実習	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	ファッション造形基礎(実教出版)						
副教材等	ファッション造形(実教出版)						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

３年生では次の４パート「織物」、「ニット」、「染色」、「アパレル」から一つを選択し通年で学習します。年度初めに各パートにおいて課題設定をおこない、専門的な技術の習得をとおした作品制作をおこないます。年末には一年間の成果の発表をおこない、グループ単位で発表準備をおこないます。３年間学んだ中から自身の興味・関心があるものを選択し、よい制作時間にしましょう。

２　学習の到達目標

工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことがなどを通して、社会を支え産業の発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成することを目標とする。
生徒の興味・関心に応じて、主体的に選択、目標設定をおこなうことで、年間を通した学習意欲の向上をめざす。ファッション工学科で学んだ内容を活かすために、縦断的、横断的な学習の機会をあたえ、相互を関連付けた知識・技術の習得をめざす。また発表においては、リーダーを基にグループ単位を体系的・系統的な組織に組み立て、協働的に取り組む態度を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	各パートに関する課題について関心をもち、その改善・向上をめざして主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。	各パートに関する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	各パートにおける基礎的・基本的な技術を身に付け、環境に配慮し、ものづくりを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	各パートに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、現代社会における工業の意義や役割を理解している。
評価方法	学習状況の観察 作品テーマ決定 デザイン画 パターン 素材選択 発表準備 発表	学習状況の観察 作品テーマ決定 デザイン画 パターン 素材選択 作品 発表準備 発表	学習状況の観察 デザイン画 パターン 作品 発表準備 発表	学習状況の観察 作品テーマ パターン 素材選択 作品 発表準備 発表

※令和３年度以前入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
通年	織物	・テーマ設定 ・情報収集 ・組織図作成 ・図案研究 ・材料調査 ・整織 ・発表	◎ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ◎ ○	 ○ ○ ◎	○ ○ ○ ○ ◎	a：テーマに対して主体的に調べ、活動をおこなうことができる。 b：テーマにそった作品制作をするため計画たてた活動が行える。 c：情報収集、組織図作成・整織などを丁寧かつ正確におこなうことができる。 d：制作の過程を理解し、発表までの工程を理解している。	学習状況の観察 デザイン画 組織図 レポート パターン 作品 プレゼンテーション
	ニット	・テーマ設定 ・情報収集 ・デザイン画作成 ・材料調査 ・編み地研究 ・縫製 ・発表	◎ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ◎ ○	 ○ ○ ◎	○ ○ ○ ○ ◎	a：a：テーマに対して主体的に調べ、活動をおこなうことができる。 b：テーマにそった作品制作をするため計画たてた活動が行える。 c：情報収集、パターン、縫製などを丁寧かつ正確におこなうことができる。 d：制作の過程を理解し、発表までの工程を理解している。	学習状況の観察 デザイン画 レポート パターン 作品 プレゼンテーション
	染色	・テーマ設定 ・情報収集 ・デザイン画作成 ・材料調査 ・染色研究 ・縫製 ・発表	◎ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ◎ ○	 ○ ○ ◎	○ ○ ○ ○ ◎	d：a：テーマに対して主体的に調べ、活動をおこなうことができる。 e：テーマにそった作品制作をするため計画たてた活動が行える。 f：情報収集、染色技法、パターン、縫製などを丁寧かつ正確におこなうことができる。 d：制作の過程を理解し、発表までの工程を理解している。	学習状況の観察 試験管染め(実技テスト) デザイン画 レポート パターン 作品 プレゼンテーション
	アパレル	・テーマ設定 ・情報収集 ・デザイン画作成 ・パターン研究 ・材料調査 ・縫製 ・発表	◎ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ◎ ○	 ○ ○ ◎	○ ○ ○ ○ ◎	g：テーマに対して主体的に調べ、活動をおこなうことができる。 h：テーマにそった作品制作をするため計画たてた活動が行える。 i：情報収集、パターン、縫製などを丁寧かつ正確におこなうことができる。 j：制作の過程を理解し、発表までの工程を理解している。	学習状況の観察 デザインコンセプト デザイン画 レポート パターン 作品 プレゼンテーション

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。